

## グランプリに広島的女子学生



▲中央に並ぶ受賞者と、両脇の審査員

NPO 法人地域活性化支援センターは5月31日、第6回恋人の聖地全国プロポーズの言葉コンテストを開催。応募総数1112件の中から最優秀賞に選ばれたのは、広島県的女子学生、中西美咲さんの「ふう〜やっと就活終わったよ。でも、第一希望じゃなかったんだ、本当は…。あなたに永久就職させてください。」だった。

中西さんは大学卒業を控え、「彼が大学院を卒業する時に伝えたい言葉」として応募した。就活＝就職活動や進路に悩む今

どきの若者の心情を反映した内容が、グランプリ選出の決め手となった。

このほか、インフルエンザで寝込んだ彼を、献身的に看護する彼女に送った「風邪が治ってもずっと傍に居て欲しいなあ。」や、何度も病院に通った末、ようやく子どもが授かった妻を想い、自宅に帰って妻を守る意思を表現した「あんたも、時間も、守るから。」など、それぞれの結婚に至るエピソードを交えたプロポーズが、特別賞や「ミスキャンパス」賞に選ばれた。

審査委員を代表して、ブライダルファッションデザイナーの桂由美氏は「今回のグランプリを含めて過去6回のグランプリ作品を改めて読み返すと、その時々世相を表していることが面白い」と語った。コンテスト開始当初は男性が女性を守るようなメッセージが主流だったのに対し、男性が女性を支える内容や、女性から男性に贈る「逆プロポーズ」が目立ってきた。今回、優秀賞作品21点のうち12点が女性発のメッセージだった。

ゲストにタレントの安めぐみさんが登場し、受賞者に表彰状を贈るプレゼンターを務めた。今月下旬にお笑い芸人・東貴博さんとの披露宴を控えている安さんは「心温まる話をたくさん聞いて、私も幸せな気持ちになった」と笑顔で語った。

プロポーズの言葉コンテストは、6月第一日曜日の「プロポーズの日」にちなんで、全国から公募している。今回は特別協賛にブライダルリング専門店「アイプリモ」(プリモ・ジャパン、東京都中央区)、協賛にグリーンウェディング フィーノ(ブライダルハウス、静岡県富士市)が付いた。

今後結婚を予定している「これからプロポーズの部」と、すでに結婚している人を対象とした「今だから伝えたいプロポーズの部」の2部門で、コンテストを通じて日本の結婚活性化を目指す。